

「楽しかったぞ！鳥取」

グラウンド・ゴルフ 小田島 眞吉さん

ねんりんピックというのがあるのさえ知らなかった私がまさかの展開でグラウンドゴルフの岩手の代表として参加することになりました。

予選は北上の総合運動公園 人工芝のグラウンドでした。三百数十名の参加者で上位6人が参加資格があり、私は6人目でギリギリ代表になりました。

大会はグラウンドゴルフ発祥の地で聖地とまで言われている鳥取県湯梨浜町泊です。半島に突き出た地形で「潮風の丘、泊」というだけあって初日の風は日本海からの猛烈なものでした。帽子を飛ばされた選手が何人かおりました。

その中第一日目のプレーが始まりました。一組6人の編成で私がリーダーで一番目。二番が石川の女性、三番が島根の女性、四番が福岡の男性、五番が鹿児島県の女性、六番が大阪、堺の男性です。



グラウンド・ゴルフ選手団で
記念撮影（左から2番目がご本人）

強風の中、難しいプレーとなりましたが1ラウンド目第2ホールで早めにホールインワンを出しホッとしました。7ホール目にハプニング(美談)が起きました。2番を打つ石川の女の人が見事ホールインワンを達成した途端に泣き出しました。皆ビックリして周りを取り囲みお話を聞きました。石川県輪島の人で一月一日の大地震で被災し、避難所生活。

その後仮設住宅に入ったら今度は水害でまた避難所暮らし。グラウンドゴルフの練習場も被災し使用できず会員が手作業で1ホールずつ整備し何とか練習ができるまで復旧したとのこと。あれやこれやの事で感極まって涙したとの事。そんなこともあってグループ6人のきずながより強くなりました。

そのあとも2回ホールインワンを出し2日間合計48打で見事女性の部を優勝しました。

地元石川、そして鳥取の新聞、テレビの取材でまさに時の人となりました。めでたし、めでたしです。

私もホールインワン2回でトータル53打でまさかの6位入賞でした。嬉しかったです。

また、同じ組でプレーした堺の男性も同じ53打で5位入賞(同じスコアでも1打の数、2打の数で順位が決まる為)でした。

同じ組6人中優勝も含め3人も入賞者を出したのはリーダーとして自慢できるのかな？

この鳥取ねんりんピック、様々なことがあり良い体験、深く記憶に残る大会となりました。



ねんりんピックはばたけ鳥取2024
グラウンド・ゴルフ交流大会

17 GR インコース

スコア表

氏名	7	8	1	2	3	4	5	6	(1) 計	1 打	2 打	3 打	4 打	5 打	6 打
小田島 眞吉	①	4	4	3	3	3	2	3	23	1	4	2			
岩崎 正美	①	3	3	4	2	2	3	19	13	2	2	3	1		
森脇 レイ子	2	4	2	2	3	2	3	21	21	0	4	3	1		
伊藤 健次	2	2	3	2	3	3	2	20	20	0	4	4			
野村 サチエ	3	4	2	3	3	2	3	23	23	0	2	5	1		
西川 敏明	3	3	2	3	3	2	3	22	22	0	2	6			

スコア表

参加して本当に良かったと思っています。私、八十歳になりましたが更に精進を重ね練習を重ね次の大会出場を目指します。

それがひいては病気もせず健康を維持する最良の方法かと思います。

私の座右の銘をいま決めました。「死ぬまで立っている」、頑張ります。いきいき財団の皆さんご苦労様でした。ありがとうございました。

とても楽しかった鳥取でした。